

商工会女性部はまちに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

県内の女性部長が集い、
コロナ禍における
事業展開の工夫を共有
群馬県商工会女性部連合会



群馬県商工会女性部連合会では、女性経営者の経営力向上と持続的发展を目的として、県内商工会女性部長を対象とした「群馬県商工会女性部長会議」を2022年11月17日に群馬県商工連会館で開催しました。

この会議は2017年度より実施しており、今年度は「今を生きていくために」をテーマに、県内商工会女性部長3人がコロナ禍における取り組み事例や活用した補助金、商工会からの支

援を受けた内容などについて、事例や実体験を交えながらパネルディスカッション方式で発表しました。

コーディネーターには、株式会社群馬マーケティングセンターの沼澤啓吾氏をお招きし、参加者にとってあらためて商工会の魅力や活用法を認識し、情報発信の重要性を知っていただく素晴らしい機会となりました。参加された女性部員からも、「コロナ禍での努力・工夫した取り組みを知ることがで



年長の園児と一緒にプランターにチューリップの球根を植える女性部員

「ピカピカの一年生」を
見守るチューリップを
卒園児に寄贈
東出雲町商工会女性部(島根県)



きて参考になった」「前向きな姿勢に元気をいただき、がんばろうと思った」などの声もあり、大盛況で終えることができました。

今後も女性部員のコロナ禍における



上／県内の女性部長が一堂に会して行われた会議の様子 左／取り組み事例を紹介

取り組みや、事業所の補助金などの活用方法を共有することで、女性部員の積極的な取り組みにつなげ、商工会女性部が地域全体の活性化の原動力になれるよう努めていきます。

東出雲町は、交通の利便性が高い地理的条件に恵まれた地域で、人口減少が続く島根県内において30年前から約4000人も人口が増加しています。

東出雲町商工会女性部は、地域の環境美化活動として、毎年町内3つの幼稚園で卒園を控えた年長の園児たちと一緒にチューリップの球根植えを行い、そのプランターを卒園時に寄贈する活動を行っています。

活動のきっかけは、上級生の後に続いて一生懸命歩く小学一年生を見て、入学時に「何かお祝いができたらいいな」と思い、春に咲くチューリップの球根を贈ることにしました。

幼稚園にて11月、部員は「球根はとんがったほうから芽が出るけん、上にしてね」「寒くなるけん、土のお布団いっぴいかけてね」と園児に話しかけながら、園児一人につき5球ずつ一緒に植えていきます。プランターは幼稚園で管理してもらいますが、手間がかからないので先生方にも喜んでもらっています。そして、やがて葉と小さい蕾ができたプランターを卒園式のときに園児はもち帰り、入学式の頃には、地域に配ったプランターからもたくさん花が咲きピカピカの一年生を見守ります。これらの活動が地域を盛り上げていく原動力となるように、地域と共生し、一歩前進して継続的な部会活動となる



4月には卒園生がもち帰ったチューリップが花開く



準備をする女性部員たち

ように取り組んでいきたいと考えています。